

THE NEWS
SAISEI



発行所

社会福祉法人 済生会
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F
電話 03-3454-3311
FAX 03-3454-5576
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

ニュース済生

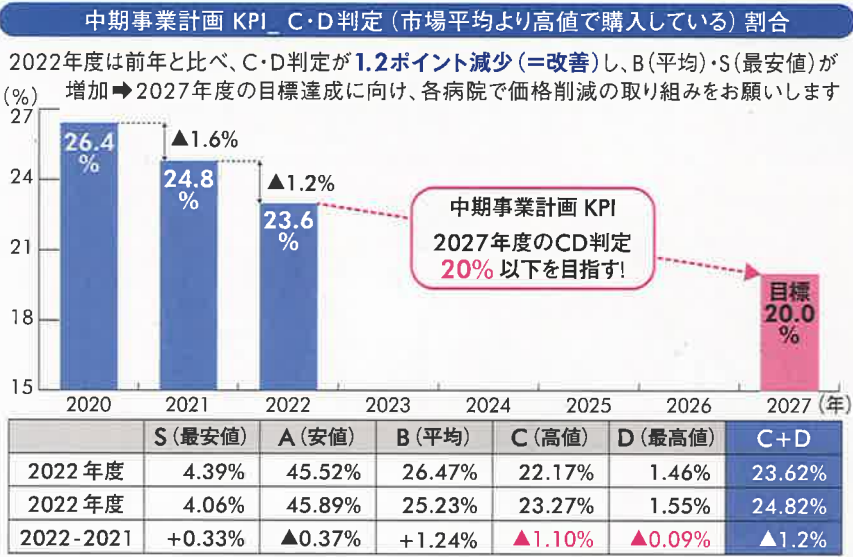
全国ベンチマークで改善

医療材料 購入価格 16施設が5ポイント以上

済生会は適正な購入価格情報を病院経営に役立てるため、全国の医療機関の医療材料購入価格を比較することができ、「MRPベンチマークシステム」を活用している。このほど22年度のベンチマーク判定がまとまり、市場平均価格より高値で購入していることを示す「C・D判定」の割合は本会全体で23・6%。前年度から1・2ポイント減少した。各病院の取り組みや済生会統一品の拡大等により、改善していることが示された。

前年度から5ポイント以上改善した病院は16病院で、5ポイント以上悪化した8病院を上回った。病院毎のC・D判定割合は各病院に6月30日通知済み。

ベンチマーク判定はシステムを運用するMRP社が全国の医療機関購買データをS（最安値）からD（最高値）までの5段階で判定し、Bが平均となっている。済生会では第3期中期事業計画で価格削減の余地が大きいCとDの判定割合を全体で20%以下に削減することを目指している。



交渉に立ち会ってほしい、価格削減に取り組んでほしい」と語った。

次期統一品候補を選定 共同購入小委

施設運営委員会のもとに設置されている「共同購入推進専門小委員会」が6月27日にオンラインで開かれた。

審議。事務（部）長、看護部長、臨床工学技士の協力を得て選定した5品目について、サンプル評価等に基づくことへの承認を得た。統一品・推奨品の推進によりC・D判定の更なる削減を目指す。

【審議事項】①統一品（第5弾）の候補品目②推奨品ニトリグループの推奨期間更新に伴うメーカー選定

【協議事項】第3期CT・MRI共同保守の方針

【報告事項】①統一品の価格改定②推奨品の価格改定等③2022年度の施設別MRP判定状況（広報室・経営管理課）

【報告】①令和4年度事業報告及び決算②第三次

【審議事項】①サイバー保険の補償範囲の拡大と費用負担

済生会が令和2年度に加入したサイバー保険の見直しについて、前回の委員会決定した損害賠償20億円、費用損害10億円の補償を法人全体で保険料を按分する方法を議論した。事務局から病院は病床規模に応じて負担する【案1】と一律に負担する【案2】が提示された。審議の結果、【案1】が承認された。8月から切り替える予定。なお、福祉施設は一律1万円の負担となる。

今年度は各施設で予算未計上のため、保険料は本部が立て替え、来年度の負担額に上乗せする。

②共有クラウドストレージの製品選定

済生会のグループウェア「なでしこネットワーク」は導入から10年が経過し、セキュリティの問題や機能不足、ユーザー管理等の理由から利用率が低い。前回委員会でデータ共有であればクラウドストレージで対応できるため、令和5年中に法人共有のクラウドストレージを導入し、なでしこネットワークを廃止することになっていた。この日は製品の比較検討結果を事務局が説明。電子帳簿保存法の対応や、他製品にはないコメント機能やユーザー検索機能を有すること、他団体での導入実績などから、ダイレクトクラウド社のDirectCloudを採用する案を提示し承認された。

令和6年1月の運用開始を目指す。

【報告事項】①マイクロソフト社フットウェアライセンス包括契約②IT資産管理ツールSKYSEAの共同購入③オンライン資格確認システムの導入状況（情報管理課）

第1回介護職員確保対策WGが6月28日、第1回看護職員確保対策WGが6月30日に開催された。両WGともに各委員は、施設の採用状況と課題、人材確保に向けて現在実施している取り組み、法人全体でこれから取り組む確保対策について、活発な意見交換を行った。

本WGは3月27日に開催された人材確保対策委員会、日本では超高齢社会が進み、看護・介護職員の需要拡大が見込まれる中、少子化・生産年齢人口の減少等、人材確保は困難な状況であることとを協議し、具体策を検討するために設置された。第2回WGは8月に開催予定。今後も人材確保



【審議事項】①サイバー保険の補償範囲の拡大と費用負担

済生会が令和2年度に加入したサイバー保険の見直しについて、前回の委員会決定した損害賠償20億円、費用損害10億円の補償を法人全体で保険料を按分する方法を議論した。事務局から病院は病床規模に応じて負担する【案1】と一律に負担する【案2】が提示された。審議の結果、【案1】が承認された。8月から切り替える予定。なお、福祉施設は一律1万円の負担となる。

今年度は各施設で予算未計上のため、保険料は本部が立て替え、来年度の負担額に上乗せする。

②共有クラウドストレージの製品選定

済生会のグループウェア「なでしこネットワーク」は導入から10年が経過し、セキュリティの問題や機能不足、ユーザー管理等の理由から利用率が低い。前回委員会でデータ共有であればクラウドストレージで対応できるため、令和5年中に法人共有のクラウドストレージを導入し、なでしこネットワークを廃止することになっていた。この日は製品の比較検討結果を事務局が説明。電子帳簿保存法の対応や、他製品にはないコメント機能やユーザー検索機能を有すること、他団体での導入実績などから、ダイレクトクラウド社のDirectCloudを採用する案を提示し承認された。

令和6年1月の運用開始を目指す。

【報告事項】①マイクロソフト社フットウェアライセンス包括契約②IT資産管理ツールSKYSEAの共同購入③オンライン資格確認システムの導入状況（情報管理課）

【審議事項】①サイバー保険の補償範囲の拡大と費用負担

済生会が令和2年度に加入したサイバー保険の見直しについて、前回の委員会決定した損害賠償20億円、費用損害10億円の補償を法人全体で保険料を按分する方法を議論した。事務局から病院は病床規模に応じて負担する【案1】と一律に負担する【案2】が提示された。審議の結果、【案1】が承認された。8月から切り替える予定。なお、福祉施設は一律1万円の負担となる。

人材確保WGが始動

看護・介護の優良事例を共有

人全体で人材確保対策に取り組み。

（事業基盤課）

【審議事項】①サイバー保険の補償範囲の拡大と費用負担

済生会が令和2年度に加入したサイバー保険の見直しについて、前回の委員会決定した損害賠償20億円、費用損害10億円の補償を法人全体で保険料を按分する方法を議論した。事務局から病院は病床規模に応じて負担する【案1】と一律に負担する【案2】が提示された。審議の結果、【案1】が承認された。8月から切り替える予定。なお、福祉施設は一律1万円の負担となる。

今年度は各施設で予算未計上のため、保険料は本部が立て替え、来年度の負担額に上乗せする。

②共有クラウドストレージの製品選定

済生会のグループウェア「なでしこネットワーク」は導入から10年が経過し、セキュリティの問題や機能不足、ユーザー管理等の理由から利用率が低い。前回委員会でデータ共有であればクラウドストレージで対応できるため、令和5年中に法人共有のクラウドストレージを導入し、なでしこネットワークを廃止することになっていた。この日は製品の比較検討結果を事務局が説明。電子帳簿保存法の対応や、他製品にはないコメント機能やユーザー検索機能を有すること、他団体での導入実績などから、ダイレクトクラウド社のDirectCloudを採用する案を提示し承認された。

今年度は各施設で予算未計上のため、保険料は本部が立て替え、来年度の負担額に上乗せする。

②共有クラウドストレージの製品選定

済生会のグループウェア「なでしこネットワーク」は導入から10年が経過し、セキュリティの問題や機能不足、ユーザー管理等の理由から利用率が低い。前回委員会でデータ共有であればクラウドストレージで対応できるため、令和5年中に法人共有のクラウドストレージを導入し、なでしこネットワークを廃止することになっていた。この日は製品の比較検討結果を事務局が説明。電子帳簿保存法の対応や、他製品にはないコメント機能やユーザー検索機能を有すること、他団体での導入実績などから、ダイレクトクラウド社のDirectCloudを採用する案を提示し承認された。

今年度は各施設で予算未計上のため、保険料は本部が立て替え、来年度の負担額に上乗せする。

②共有クラウドストレージの製品選定

済生会のグループウェア「なでしこネットワーク」は導入から10年が経過し、セキュリティの問題や機能不足、ユーザー管理等の理由から利用率が低い。前回委員会でデータ共有であればクラウドストレージで対応できるため、令和5年中に法人共有のクラウドストレージを導入し、なでしこネットワークを廃止することになっていた。この日は製品の比較検討結果を事務局が説明。電子帳簿保存法の対応や、他製品にはないコメント機能やユーザー検索機能を有すること、他団体での導入実績などから、ダイレクトクラウド社のDirectCloudを採用する案を提示し承認された。

今年度は各施設で予算未計上のため、保険料は本部が立て替え、来年度の負担額に上乗せする。

②共有クラウドストレージの製品選定

済生会のグループウェア「なでしこネットワーク」は導入から10年が経過し、セキュリティの問題や機能不足、ユーザー管理等の理由から利用率が低い。前回委員会でデータ共有であればクラウドストレージで対応できるため、令和5年中に法人共有のクラウドストレージを導入し、なでしこネットワークを廃止することになっていた。この日は製品の比較検討結果を事務局が説明。電子帳簿保存法の対応や、他製品にはないコメント機能やユーザー検索機能を有すること、他団体での導入実績などから、ダイレクトクラウド社のDirectCloudを採用する案を提示し承認された。

高松宮記念基金にご協力ください

令和5年1月～6月分実績

◎本会会員加入状況	38,665人	82.8%
	43,299口	8,659万円
◎外部会員加入状況		
◎一時寄付状況	14件	44万円
	(内、自販機関係)	21万円
◎募金箱		20万円

CF第3弾募集を開始

高松宮記念基金・令和基金対策室は7月14日、第3弾のクラウドファンディング（CF）実施施設の募集を開始した。締め切りは8月31日。済生会が国内最大級の

CF事業者・READY FOR社と業務提携を結んでいる。2023年3月から実施した第1弾では4病院（千里・和歌山・大牟田・飯塚嘉穂）が参加、全病院が目標金額を達成した。第2弾は小樽病院など4病院が6月から順次実施している。

CFは資金調達だけでなく、本会の活動を多くの人々に伝え、共感してもらうことも魅力。誰一人取り残さない医療と福祉の実現に向けて活用を検討してほしい。

（高松宮記念基金・令和基金対策室）



宮城県済生会

山下 圭殿	53万円
佐藤皇季殿	73万円
大滝善二殿	115万円
(みやぎ乳児院へ)	
東京都済生会	
小倉律子殿	300万円
(中央病院へ)	
滋賀県済生会	
株セレマ殿	200万円
(滋賀県病院へ)	
京都府済生会	
株セレマ殿	200万円
(京都府済生会病院へ)	
人事	
副会長	
委嘱 國吉宏和	7・1
解嘱 弘田隆彦	6・30
8月の予定	
3日～4日 看護部長研修	
4日 関東ブロック会議（水戸）	
参加募集	
済生会地域包括ケア連携士養成研修会・申し込み期限は7月31日（社会福祉・地域包括ケア課）	
滋賀県病院	
井上四郎院長が逝去	
院の井上四郎院長が6月25日、逝去された。86歳だった。井上氏は昭和36年に京都府立医科大学を卒業。朝日大学にて教授を務めた後、平成4年に滋賀県病院院長及び滋賀県済生会看護専門学校校長に就任。学校長を11年、病院院長を19年まで務めた後、同名養院長に就任した。14年には滋賀県病院協会会長を務め、18年には公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞された。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。	

